

今できること・考えること ～2学期始業式を迎えるにあたって～

42日間という夏休みが終わり、今日から二学期が始まります。

この42日間、みなさんはどのように過ごしていたでしょうか？

終業式の時に、「角度1度の努力をしましょう」というお話をしました。

今日の皆さんは、どれくらいの高さまで登ることができているでしょうか。今日は、その高さが見た目では分からない高さかもしれませんが、継続することで登った高さが自覚できるようになります。地道な努力をこれからも大切にしていきたいと思います。

さて、二学期は体育祭、文化祭、修学旅行、校外学習、合唱コンクールなど、大きな行事が続き、最も長い学期として、学習内容も広くなり充実したものとなります。また、皆さんにとって、最も成長を感じることができる学期でもあり、その成長こそが、皆さんの来年につながる原動力となっていくという重要な学期でもあります。

このような大切な二学期が、新型コロナウイルスデルタ株による感染拡大のため、給食後の下校や部活動の自粛などから始まることとなり、これからの行事や学校生活がどのようなになってしまうのだろうという、不安さえ感じている人も少なくはないと思います。

そこで、アメリカ第35代のジョン・F・ケネディ大統領が、大統領就任演説で述べた言葉を紹介します。

And so my fellow Americans,
ask not what your country can do for you,
ask what you can do for your country.
My fellow citizens of the world,
ask not what America will do for you,
but what together we can do for the freedom of man.

アメリカ国民のみなさん、
アメリカがあなたに何をしてくれるかを問うのではなく、
あなた方自身が、アメリカのために何ができるかを問うてほしい。
世界中のみなさん、
アメリカが貴方の国に何をしてくれるかを問うのではなく、
我々が協力して『人類の自由』のため
一緒に何ができるかを問うてほしい。



3年生の生徒から
届けられました。

多くの不安を感じながらのスタートですが、「どうしたらできるのか」という祖中生の知恵を、今こそ結集するときではないでしょうか？誰かが何とかしてくれる、誰かが守ってくれる、お父さんお母さんが何とかしてくれる、学校が何とかしてくれる・・・このような考えでは前進はできません。このような状況になったのは、誰の責任でもありません。

今すべきこと・考えることは、何か。それは、祖中生一人一人、祖中の教職員一人一人が、知恵を出し合い、感染の危険性を限りなく小さくし、1学期のような学校生活に戻すことです。

そして、このような状況の中で、どうしたら二学期の学校行事や学校生活を進めることができるのかということ、学校・学年・学級そして生徒の皆さん、私たち教職員みんなで考えることが、この苦難を乗り越える近道であると信じています。

この二学期も、祖中生の知恵と行動力の底力に期待しています。